



郷土の先賢展

『仕事をこすす!』

「先見性」
「積極進取の気性」
「耐え忍ぶ力」
「あきらめない心」

期 間： 令和7年 4月17日(木)～6月30日(月)

※4月29日(火)、5月3日(土)～6日(火)は、休館

会 場： 富山県教育記念館 1階ギャラリー

開館時間： 午前9時～午後5時 (入館は4時半まで)

- 主催：(公財)富山県ひとづくり財団、共催：富山県教育委員会 -



どりーむくん

◆感染症拡大予防(お願い)

1. 場に応じたマスクの着用
2. 入館時の手指消毒

郷土の先賢展 『仕事をおこす！』 ～とよまから社会を拓いた起業家たち～



当財団・記念館では、富山県の未来を拓く有為な人材の育成をめざして、教育振興や多彩な人づくり事業に取り組んでいます。なかでも郷土が生んだ優れた先人（「先賢」）の調査・顕彰については、昭和62年（1987年）に県内の教員を中心とする「郷土先賢部会」を設置して、これまでに政治・経済・社会・教育・文化学術・スポーツ等、幅広い分野から、計160名を顕彰してきました。

それら先賢に共通することは、富山の、豊かで美しく、かつ厳しさもある自然の中で育まれた 県民性（「先見性」「積極進取の気性」「耐え忍ぶ力」「あきらめない心」）を発揮して、厳しい環境や変化の中でも、夢・情熱をもって懸命に努力し、幾多の困難を乗り越え、それぞれの道で輝かしい業績をあげた点です。

その生き方に触れ学ぶことは、先の見えない今を生きる私たちにとって力強い指針となるものであり、また未来を担う子どもたちにとっては、将来の夢や目標に向かって、たくましくチャレンジする優れたモデルとなるものです。

今回は、社会が複雑化し課題が山積する中、新たな価値を創造社会を切り拓く人材の育成が強く求められるこの時に当たり、これまで顕彰してきた先賢の中から、『仕事をおこした』18名を取り上げます。

明治から平成にかけ、ふるさと富山を、そして日本・世界を変えようと力強く牽引したその足跡をどうぞご覧ください。

〔郷土ゆかりの起業家 18名〕

◆ 支え育てる



安田善次郎



浅野総一郎



初代金岡又左衛門

◆ 築く・支える



2代清水喜助



初代佐藤助九郎

◆ つなぐ・支える



大矢四郎兵衛



佐伯宗義

◆ 見つけ活かす



高峰譲吉



川原田政太郎

◆ つなぐ・拡げる



瀬木博尚



青井忠治

◆ ものづくり



黒田善太郎



竹平政太郎



吉田忠雄



※今村善次郎

〔3階常設展〕

